

地域の患者さんを支えたい。

からだの調子が悪くなったとき、まずは自宅や勤務先に近いクリニックへということが多い。地域の医療窓口としての役割を担うクリニックでは、患者さんから求められることもさまざまである。「ひとりでも多くの患者さんのお役に立ちたい。」その一心で幅広い視点から情報を集める。MRIは情報提供活動を通して、地域と患者さんに向き合っている。

 **田辺三菱製薬**
<http://www.mt-pharma.co.jp/>

Good Chemistry for Tomorrow  三菱ケミカルホールディングスグループ

「現場での経験を生かし、
幅広い情報で
お役に立ちたいですね。」

伊藤 博成 営業本部 埼玉支店 さいたま第三営業所

「どんなMRが
必要とされるのか。
常に意識して
活動しています。」

嘉勢 知子
営業本部 埼玉支店 さいたま第三営業所

医療法人 平田クリニック
院長 平田 大介先生

撮影ご協力:
医療法人 平田クリニック
(埼玉県草加市)

